

# シンポジウム：「大阪・兵庫・和歌山での 地域連携の実例」

9 月 12 日 (土) 16 : 00 ~ 18 : 00

司 会 新田 和宏  
(近畿大学)

## 1. 報告者

大阪

羽曳野市商工会 事務局長 杉本 茂樹 氏  
阪本織布株式会社 代表取締役 阪本 壮一 氏

兵庫

株式会社神戸新聞社 地域総研企画調査部 次長 箸本 史朗 氏

和歌山

株式会社早和果樹園 取締役専務 秋竹 俊伸 氏

## 2. 本プログラムの目的

大会恒例のシンポジウムについて、今大会では、「**大阪・兵庫・和歌山での地域連携の実例**」と題し、3府県のインターンシップでご活躍中の方々をお招きします。大阪府については、羽曳野市商工会を中心とする地域密着型のインターンシップと、それを端緒にPBLに発展した事例などをご紹介します。また、兵庫県については、神戸新聞社を中心に地元の産官学が連携し、大学生と地元企業のマッチングを目指す「Mラボ」の活動などをお話しいたします。和歌山県については、地域ブランドの「有田みかん」で6次産業化を推進されている早和果樹園におけるインターンシップの取組みなどをお話しいたします(早和果樹園は、平成26年度に6次産業化優良事例農林水産大臣賞を受賞されました)。受入れ担当者等によるパネルディスカッションを通じて、関西における実践教育の実情と今後の発展性について議論していきます。

なお、いずれも、近年話題の「地域創生」につながる貴重な事例ですので、このシンポジウムを**非会員にも無料で公開**することとします。また、夕方の**懇親会**(非会員にも有料で公開)には、シンポジウム関係者を原則としてお招きしていますので、プログラム中では聞けなかったことも含めて、ご確認やご意見交換をしていただけます。